

グローバル展開プログラム(公募型研究テーマ)

- ◆課題(研究領域):「日本企業のコーポレート・ガバナンスに関するグローバルな発信」
- ◆研究テーマ:「日本の企業統治の比較実証分析:所有構造・戦略選択・パフォーマンス」

研究期間:H26.2~H29.1
委託費総額:29,920千円

<研究代表者>

宮島英昭:早稲田大学商学学術院／教授
高等研究所／所長



<専門分野>

日本経済論・企業統治論

<Webページ>

<http://www.waseda.jp/prj-acg/>

<研究目的・概要>

・近年大きく変容してきた日本の企業統治の特性や多様化をもたらした要因、日本の企業統治の国際的特徴が明らかにされていない。



海外機関との協力により国際的な比較を通じて日本企業の統治構造を包括的に分析する。

- ・企業統治構造、戦略・組織選択、企業パフォーマンス、法・政治制度を含んだダイナミックな枠組みを設定し、日本企業の統治構造に関する分析を行う。
- ・長期関係を重視した実証的な企業統治指標の整備を行う。



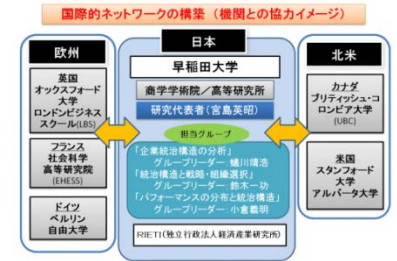
日本の企業統治構造の実態・機能・特性に関する分析成果を国際発信し、日本の「企業統治の進化」の国際理解促進を図る。

<研究計画の特徴>

・国際的ネットワークの構築
右図のように欧米各国の協力機関との国際共同研究による、国際的研究ネットワークを構築する。

・若手研究者の育成

若手研究者を海外協力機関に派遣し、共同研究のアシスタントとしてデータ作成の段階から関与させることにより、国際共同研究に参加する途を拓く。



<目標とする研究成果>

(1) 企業統治分析に関する学術的貢献

- ・企業統治構造、戦略・組織選択、企業パフォーマンスの相互関係を統一的にとらえる枠組みを設定することで、日本企業の実態分析を前進させる。
- ・国際的にも企業統治分析に新たな視点を提示することが可能。(信頼を維持する機関、海外機関投資家の役割)
- ・日本の企業統治の関する研究成果の海外研究者との共有・比較研究。

(2) 一般向けの情報発信

- ・日経新聞・RIETI HPコラム・Financial Times・The Economistといった媒体を通じて積極的に成果を発信し、本研究で構築したデータをHPなどで公開する。